



保育所の給食に提供する野菜の出荷作業

益田市真砂地区は、平成23年度に県の「地域力醸成プログラム事業」の選定を受け、公民館と学校、地域商社「真砂」の3者が協働して地域づくりへの取り組みを開始。今年4

月には地域自治組織「ときめきの里真砂」を発足させました。食育を活動の核に、給食用野菜の提供に取り組んでいます。市内の4保育所と連携し、約50世帯の高齢者が家庭菜園で栽培。拠点とする真砂地区振興センターに週2回出荷して仕分けし、配送係の住民が遠方の保育所へ届けます。生産者には出荷量に応じて販売収益があります。「収入はわずかだが、地域社会で誰かの役に立てる生きがいや、住民同士の交流が生まれることが成果」とときめきの里真砂の大庭完会長は話します。真砂の野菜は給食食材としての安全性が注目され、市内スーパーに販路が拡大。出荷を兼ねて買い物支援バス（ふれあいバス）を試行運転させ、交通弱者対策にも取り組んでいます。

「食育」核に地域づくり、人づくり

●ときめきの里 真砂(益田市)

地区データ

該当エリア／益田市波田町、下波田町、長沢町、馬谷町
人口／389人
高齢化率／53.2%
(平成28年4月時点)



真砂地区

そのほか小中学生へのふるさと教育・キャリア教育を実施。今後は交流拠点施設の開設や認知症の高齢者の見守り活動を計画しています。



ふれあいバスでの野菜出荷



地域食材を使ったふるさと教育活動(1日レストラン)

真砂地区の取り組み

「真砂地区活性化協議会」設立(平成元年) 社会教育等の取り組みを通して話し合いを重ねる

「地域力醸成プログラム事業」(県事業:平成23年度) 食育をテーマにした地域協働の枠組みを構築

食育活動

食育をテーマにした学びの提供
ふるさと学校給食
安心安全で旬な野菜を、市内の4保育所へ提供

健全育成活動

地域商社「真砂」と連携し、
小中学校でふるさと教育やキャリア教育を推進

地域産業振興

真砂とうふなど、特産物の生産・加工・販売に
取り組み、雇用を確保

交通弱者対策

市内スーパーへふれあいバスを試行運転(月6回)

人口拡大対策

空き家を確保し情報発信

「とにかくやってみる」「動いていれば出会いがあり、新たに発見がある」をモットーに、誇りと自信の持てる故郷づくりを目指す

始まっています

小さな拠点づくり

中山間地域で安心して暮らし続けるために

県土の約87%を占める中山間地域で進む、人口の減少や高齢化。日常生活に必要な機能の維持が困難となる集落が増えるなか、公民館エリアなど、より広い地域でまとまって日常生活を支える仕組みをつくるが必要になっています。

地域のなかに、こんな声はありませんか？

- 「地域の資源を使って、みんなが元気になるような活動をしたい」
- 「バス停が遠くて通院が大変」
- 「車の運転ができなくなったから買い物がない」
- 「〇△商店が閉店して、買い物に不便になった」
- 「二人暮らしの高齢者が増えて、孤立していないか、心配」

地域の声(課題)

- 地域産業の振興**
特産品の開発・販売による働く場の確保と一体感の創出
- 生活交通の確保**
自宅周辺から中心地までの移動手段の確保
- 生活機能の確保**
買い物や高齢者の見守りなど、日常生活に必要な機能を集約し確保

取り組みの3本柱(小さな拠点づくり)

できることから、少しずつ

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、さまざまな課題の解決が必要です。そのために、知恵を出し合い、計画を作って、できることから「少しずつ取り組んでいくこと」「小さな拠点づくり」です。住民の皆さんでよく話し合い、地域コミュニティの維持や、買い物などの日常生活を送るうえで課題を明らかにすることから始めましょう。

ステップ1

- 地域のことを知る
- みんなで話し合う

ステップ2

- 計画をつくる
- 取り組み体制をつくる

ステップ3

- 取り組みの試行・改善
- 取り組みの充実

取り組み事例はこちら

- 詳しく話を聞いてみたい
 - 地域での話し合いを始めてみたい
 - 計画づくりや取り組みをサポートしてほしい など
 - 思い立ったら気軽に電話ください(担当者がお伺いします)
- 東部▼しまね暮らし推進課
☎08852225065
- 西部▼西部県民センター地域振興課
☎08855295514
- 隠岐▼隠岐支庁地域振興課
☎0851229611